

色川百姓養成塾

塾生募集中!

人と人、人と自然の調和の中で受け継がれてきた「むら」。

今、その「むら」が日本から姿を消そうとしています。

大切な「むら」を次につなぎたい——そんな気持ちから「色川百姓養成塾」は生まれました。

日本中の「むら」には、数十年前まで、自らの手足、経験と勤とを頼りに、身近な自然の恵みを利用して生きる知恵と技とが詰まっていた。そのようにして、つつましく、力強く生きてきた人々を、心からの敬意をこめて「百姓」と呼びたいと思います。百姓の営みは、あまりにも当たり前でさりげない日常だったためか、その価値を実感されぬまま、高度成長期以降の「生活水準の向上」にともない急速に姿を消していきました。過疎化・高齢化で今や「限界集落」とされるような地域にこそ、百姓として生きる知恵・技術・心が色濃く残っています。そうした地域のお年寄りがいるうちに、百姓としての暮らしを守り受け継ぐ輪を広げ、共に活動する若い仲間を求めています。



活動内容：むら人と日々ふれあいながら、四季を通じたむらの暮らしを実践的に学び、記録します。

●むらの文化・昔話などの聞き書き
むらの行事などに参加したり、むら人たちから話を聞いて、むらの文化や風習をまとめる。また、むらに残っている方言や小字名(昔の地名)、生活道などを調べて記録する。



●むらの写真の収集・保存
むらの昔の写真を集めてデジタル化したり、現在の生活風景や自然を撮影したり、むらの姿を記録・保存する。



●四季折々の百姓仕事
むら人から、畑・棚田での農作業、伝統食作り、家屋敷の管理、わら細工などを教えてもらい、百姓の暮らしを体験する。

●伝統職人の技を学ぶ
鍛冶屋、桶屋、建具屋などの伝統的な職人の技を見学し、学ぶ。

●応募要項

1. 受け入れ期間：何日間でも可。数カ月～1年の長期滞在も可（応相談）
2. 費用：交通費・宿泊費・活動にかかる諸経費等は、原則こちらで補助します（上限あり）
3. 要件：山里の文化やお年寄りの知恵、伝統的な職人技など、失われつつある日本古来の暮らしに関心があり、人とのコミュニケーション・共同生活・自炊ができる方
4. 応募締切：滞在開始希望日の2週間前
5. 宿泊施設：空家を利用した共同宿舎、民泊、町立籠ふるさと塾など

●問い合わせ・応募先

〒649-5451 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町口色川 86 色川百姓養成塾事務局（瀧岡）
TEL：0735-56-0152 Email：htakioka@hotmail.com
URL：http://www.zb.ztv.ne.jp/hyakusho/
ブログ：http://www.iju-join.jp/prefectures/wakayama/blog/500098/